

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名	株式会社 北川鉄工所	上場取引所	東
コード番号	6317	URL	https://www.kiw.co.jp/
代表者	(役職名)代表取締役会長兼社長	(氏名)北川 祐治	
問合せ先責任者	(役職名)取締役執行役員 経営管理本部長	(氏名)宇田 育造	(TEL)0847(45)4560
四半期報告書提出予定日	2020年8月7日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	9,449	△33.4	△711	—	△420	—	△654	—
2020年3月期第1四半期	14,184	1.1	870	△40.7	991	△38.2	651	△42.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △1,042 百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 765 百万円 (182.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△69.86	—
2020年3月期第1四半期	69.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	68,650	36,571	51.3
2020年3月期	70,651	38,082	52.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 35,211 百万円 2020年3月期 36,712 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
2021年3月期の期末配当予想につきましては、現段階では未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,600	△32.3	△1,500	—	△1,000	—	△1,000	—	△106.80
通期	47,300	△18.9	△1,500	—	△1,000	—	△1,200	—	△128.16

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	9,650,803株	2020年3月期	9,650,803株
2021年3月期1Q	287,894株	2020年3月期	287,794株
2021年3月期1Q	9,362,936株	2020年3月期1Q	9,364,453株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策が講じられ、不要不急の外出制限等の影響により経済活動が急速に停滞し、極めて厳しい状況で推移しました。また、世界経済においても、各国において新型コロナウイルス対策として行動制限等の措置が講じられ、景気を大きく下押しする結果となりました。

このような状況のもと、当社グループでは、それぞれの事業セグメントごとの成長を志向し、品質改善、商品開発、生産管理体制の改善など、収益力の強化に取り組んでまいりました。

しかしながら、当社グループを取り巻く市場環境は国内外ともに停滞感や減速感が強く、一部の事業セグメントでは需要の低下により生産調整を強いられるなど、非常に厳しい経営環境下での事業運営となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高はグループ全体で、9,449百万円(前年同四半期比33.4%減)、営業損失711百万円(前年同期営業利益870百万円)、経常損失420百万円(前年同期経常利益991百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失654百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益651百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー (金属素形材事業)

自動車関連業界におきましては、中国市場の失速や米中貿易摩擦の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大によって一部の自動車メーカーが操業停止による生産調整を行うなど、市場全体が急激に減速しました。また、農業機械・建設機械業界におきましても国内外ともに低調に推移しました。

このような状況のもと、当事業におきましては、国内外の生産拠点間の連携強化を図り、当社の強みである素材開発から機械加工までの一貫生産体制を活かし、自動車トランスミッション部品を中心とした高付加価値部品の新規受注に努めました。メキシコ子会社におきましては次期モデルの自動車部品を受注し、2023年の量産開始に向けての取り組みを開始しました。一方で、自動車メーカーの生産調整による受注量の減少に対応するため、操業時間をコントロールするなど、固定費の削減に努めてまいりました。

これらの取り組みを進めることによって、収益性の改善に努めてまいりましたが、市場環境の悪化の影響が甚大であり、売上が前年比で大幅に減少し、利益面でも非常に厳しい状況で推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当事業の売上高は4,151百万円(前年同四半期比42.0%減)、セグメント損失(営業損失)は808百万円(前年同期セグメント利益196百万円)となりました。

キタガワ サン テック カンパニー (産業機械事業)

国内の建設業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大により、資材の調達や人手の確保等に一部の影響がありましたが、限定的であり、概ね底堅く推移しました。しかし、今後の見通しについては、民間建築案件の中には計画の見直しや延期等が検討されているものもあり、先行き不透明な状態が続くと思われれます。

このような状況のもと、当事業におきましては、お客様訪問などの直接的な営業活動を自粛する一方で、顧客満足度の向上を図るためにVR技術を用いた営業ツールの開発や商品の品質向上に注力してまいりましたが、慢性的な人手不足やコロナウイルスの影響等により、プラント事業のメンテナンス工事や荷役機械関連事業のクライミングクレーンの出荷が先延ばしとなり、売上の一部が第2四半期に計上される見込みとなりました。また、自走式立体駐車場事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により商談中の物件の受注時期が当初の計画よりも大幅に遅れているため、今後、厳しい状況で推移することが予想されます。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当事業の売上高は3,499百万円(前年同四半期比19.4%減)、セグメント利益(営業利益)は203百万円(前年同四半期比55.2%減)となりました。

キタガワ グローバル ハンド カンパニー (工作機器事業)

工作機械関連業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が市場環境に大きな影響を及ぼしました。内需は、自動車関連業界を中心に需要が大きく落ち込みました。一方、外需は、中国が感染症の拡大防止策を迅速に講じたことにより、若干の回復傾向が見られるものの、前年同期比では受注が大きく減少しています。欧米では、航空機をはじめ各分野で需要が減少しました。

このような状況のもと、当事業におきましては、産業用ロボット周辺機器市場での事業化を推進していくために、ロボットハンドのQCD改善や開発の推進、システムインテグレータとのネットワーク構築など、今後の成長に向けた経営課題の解決に取り組むことで、カンパニーの活性化を行いました。また、次世代標準チャックBRシリーズの販売拡大を行うことで、市場での認知度向上に注力しました。

これらの取り組みを進めてまいりましたが、市場環境の悪化の影響が大きく、国内外ともに企業の設備投資意欲が低下したことにより需要が伸びず、当事業は売上・利益ともに厳しい状況で推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当事業の売上高は 1,698百万円（前年同四半期比 34.9%減）、セグメント利益（営業利益）は 120百万円（前年同四半期比 72.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権の減少などにより、前連結会計年度末に比べて 2,001百万円減少し、68,650百万円となりました。

負債は、仕入債務の減少などにより、前連結会計年度末に比べて490百万円減少し 32,078百万円となりました。

純資産は、当第1四半期連結会計期間末に配当を実施したことに加え、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上があり、前連結会計年度末に比べて 1,510百万円減少し、36,571百万円となりました。純資産から非支配株主持分を差し引いた自己資本は 35,211百万円となり、自己資本比率は 51.3%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期第2四半期及び通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、業績予想の合理的な算定ができないため未定としておりましたが、この度、緊急事態宣言の解除及び各国における経済活動の再開を受け、現時点で入手可能な情報に基づき算定し、公表することといたしました。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,954	9,048
受取手形及び売掛金	9,254	7,865
電子記録債権	5,064	4,622
商品及び製品	4,000	4,369
仕掛品	4,266	4,767
原材料及び貯蔵品	2,413	2,392
その他	342	750
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	35,283	33,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,857	6,749
機械装置及び運搬具（純額）	14,776	14,570
その他（純額）	7,236	7,063
有形固定資産合計	28,870	28,383
無形固定資産	548	565
投資その他の資産	5,949	5,897
固定資産合計	35,367	34,845
資産合計	70,651	68,650

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,049	4,059
電子記録債務	4,369	4,368
短期借入金	3,688	3,985
1年内返済予定の長期借入金	1,477	1,486
未払法人税等	275	58
賞与引当金	642	196
製品保証引当金	211	137
その他	5,044	4,839
流動負債合計	20,758	19,131
固定負債		
長期借入金	6,078	7,162
環境対策引当金	219	219
退職給付に係る負債	5,239	5,303
その他	273	260
固定負債合計	11,810	12,946
負債合計	32,569	32,078
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,640	8,640
資本剰余金	5,104	5,104
利益剰余金	22,617	21,494
自己株式	△614	△615
株主資本合計	35,746	34,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	947	1,027
繰延ヘッジ損益	—	4
為替換算調整勘定	1,514	1,007
退職給付に係る調整累計額	△1,495	△1,452
その他の包括利益累計額合計	965	587
非支配株主持分	1,369	1,359
純資産合計	38,082	36,571
負債純資産合計	70,651	68,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	14,184	9,449
売上原価	11,721	8,793
売上総利益	2,463	656
販売費及び一般管理費	1,592	1,368
営業利益又は営業損失(△)	870	△711
営業外収益		
受取利息	8	5
受取配当金	45	38
持分法による投資利益	36	—
為替差益	—	75
スクラップ売却益	46	19
助成金収入	0	162
その他	47	55
営業外収益合計	183	357
営業外費用		
支払利息	22	19
持分法による投資損失	—	32
為替差損	32	—
その他	8	14
営業外費用合計	63	66
経常利益又は経常損失(△)	991	△420
特別損失		
固定資産除却損	13	—
特別損失合計	13	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	977	△420
法人税、住民税及び事業税	102	8
法人税等調整額	211	221
法人税等合計	314	229
四半期純利益又は四半期純損失(△)	663	△650
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	651	△654

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	663	△650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90	80
繰延ヘッジ損益	△0	4
為替換算調整勘定	163	△528
退職給付に係る調整額	33	42
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	8
その他の包括利益合計	102	△391
四半期包括利益	765	△1,042
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	753	△1,032
非支配株主に係る四半期包括利益	11	△10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

2021年3月期第1四半期は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国内外での受注が大幅に減少いたしました。年度後半に向けて徐々に受注が回復し、翌連結会計年度では通年でほぼ正常化するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー	キタガワ サン テック カンパニー	キタガワ グローバル ハンド カンパニー	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,152	4,340	2,609	14,102	81	14,184
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62	0	4	67	—	67
計	7,215	4,340	2,614	14,170	81	14,252
セグメント利益又は損失 (△)	196	454	436	1,086	△32	1,054

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特機事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,086
「その他」の区分の損失(△)	△32
全社費用(注)	△183
四半期連結損益計算書の営業利益	870

(注) 主に提出会社の管理部門に係る費用及び各セグメント共通の費用で便益の程度が直接把握できない費用部分であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー	キタガワ サン テック カンパニー	キタガワ グローバル ハンド カンパニー	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,151	3,499	1,698	9,349	99	9,449
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41	0	1	42	—	42
計	4,193	3,499	1,699	9,392	99	9,492
セグメント利益又は損失 (△)	△808	203	120	△484	△41	△525

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特機事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△484
「その他」の区分の損失(△)	△41
全社費用(注)	△186
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△711

(注) 主に提出会社の管理部門に係る費用及び各セグメント共通の費用で便益の程度が直接把握できない費用部分であります。